

関係各位

2025年1月10日
学校法人日本聾話学校
理事長 水口 洋
校長 鈴木 実

校名変更のお知らせ

澄み渡る凜とした空気の中、暖かな陽の光に心も温かくなる季節となりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育の取り組みに多大なるご理解とご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、去る2024年11月13日に行われた本法人の理事・評議員会におきまして、本校は、法人名はそのままに、学校名を変更することが決定されました。

これにより本校は2025年4月1日から、

「学校法人日本聾話学校（きこえの学校）ライシャワー学園」

という新しい学校名(カッコ内は通称)で新たな歩みをスタートすることになりました。またこれに合わせて、併設の児童発達支援センター ライシャワ・クレマ学園は、「ライシャワー学園 きこえサポートセンター」という名称に改めることになりました。

学校名を変更する理由とその思い

本校は104年前にライシャワー夫妻によって創立され、「日本聾話学校」と名付けられました。この校名は、本校創立の理念を高らかに宣言するものであり、長年にわたり日本の聴覚障がい児教育のパイオニアとして歩んできたこの学校を愛する全ての人が誇りに思って大切にしてきたものです。この思いは今も少しも変わることはありません。

しかしこの度、その大切な校名を変更することにいたしました。創立から100年を経るなかで、医療や補聴器等の技術、また障がい者を取り巻く社会環境は大きく変化し続けてきました。そしてそれに合わせて本校の取り組みも変化してきました。近年になりこの変化の状況はさらに大きくなっています。私たちは、これまで大切にしてきた創立者の思いや教育の在り方をしっかりと継承しつつ、新たに担うべき役割を再確認し、さらに先進的な取り組みを前に進めていくことを内外に示す必要があると強く感じ、また本校の教育を、聴覚を活かした教育を行っている学校を探している人により広く知っていただき、本校が行うことが出来る支援を届けられることを願い、学校名を変更するとの判断に至りました。

本校が進める新たな取り組みとして、町田市をはじめとする近隣の自治体と協力した早期からの切れ目ない支援の実現、児童発達支援センターの機能の拡充、診療所の開設に向けた準備などの取り組みを進めています。

これまで未就学児を対象としてきたライシャワ・クレーマ学園が「きこえサポートセンター」となり、支援の対象を18歳まで拡大し、インテ生や卒業生そしてそれ以外の地域の学校等に通うすべての難聴児を対象とするようになります。また、補聴器・難聴外来専門の耳鼻科診療所を2026年度中に開設することを目指して準備を進めています。診療所が開設されれば、在校生や卒業生だけでなく、きこえのことで困っている高齢者を含めたすべての方を対象に、本校がこれまで培ってきた専門的な支援を届けることができるようになります。

キリスト教精神に基づき、一人ひとりを愛し大切にしながら、子どもの持つ可能性を感じ、豊かな関わりの中で、聴いて、話して、心開いて他者と関わる人になるよう育てること。そしてその時々最先端の機器を活用しながら一人一人のきこえとことば、その子が持つ能力の最大限の成長を促すこと。これがこれまで100年かけて積み重ねてきた本校の伝統です。この伝統を一つも損なうことなく、更に充実した取り組みを前に進め、より多くの聴覚障がい児のためにこれからもこの学校の歩を進めていきたい、そう願って教職員一同で決意を新たにしております。

これからも本校の取り組みを末永く見守り、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

2025年1月10日

